

201523020A

厚生労働科学研究費補助金

(医薬品・医療機器等

レギュラトリーサイエンス政策研究事業)

薬局・薬剤師の業務実態の把握と

そのあり方に関する調査研究

平成 27 年度 研究報告書

**研究代表者** 桐野 豊

平成 28 (2016) 年 3 月

## 目 次

I. 総括研究報告	
薬局・薬剤師の業務実態の把握とそのあり方に関する調査研究	1
研究代表者	桐野 豊 徳島文理大学学長
II. 分担研究報告書	
薬局・薬剤師の適正業務に関する調査研究	15
分担研究者	益山 光一 東京薬科大学薬学部薬事関係法規教授
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	21
IV. 参考資料	23

厚生労働科学研究費補助金  
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)  
総括研究報告書

薬局・薬剤師の業務実態の把握とそのあり方に関する調査研究

研究代表者 桐野 豊 徳島文理大学学長

**研究要旨**

厚生労働省が公表した「患者のための薬局ビジョン」において、薬局・薬剤師は、従来の対物業務から、在宅対応も含めた継続的な服薬状況・副作用等のモニタリング、それを踏まえた医師へのフィードバックや処方提案、残薬解消など、患者が医薬分業のメリットを実感できる対人業務へのシフトを図ること、さらに、薬局におけるタイムスタディ調査を実施し、調剤技術の進展、機械化の状況など、最新の状況に応じた薬剤師業務の実態を把握することについて言及されている。また、今後、「患者のための薬局ビジョン」実現のためのロードマップや具体的な施策を講じる上での留意点等を検討することとしており、薬局における業務について対人業務へのシフトを図るため、対人業務そのものの推進と同時に、現在、負担が大きくなっている業務の改善方法を追究に向けて検討が必要となっている。

本研究では、タイムスタディ調査において、処方箋を受け付けてから薬剤を患者に交付し、記録を記入するまでの調剤に関連する業務（調剤業務）だけでなく、薬局の管理業務を含め薬局における業務実態全体について調査を行うとともに、調剤業務については、過去の先行調査との比較可能性を確保できるよう配慮しつつ、処方箋1枚当たりの業務時間を明らかにすることとして実施した。またタイムスタディ調査の実施に当たっては、適宜関係団体の協力を仰ぎながら、薬剤師数等に偏りが生じないよう調査対象薬局の選定を行い、薬局の特徴や地域の違いを配慮の上、10薬局で調査を実施し、薬局・薬剤師の業務実態の把握を行った。

薬局・薬剤師の適正業務については、残薬等の先駆的な取組みを実施している地区薬剤師会の協力を得て、アンケート調査を実施し、タイムスタディ調査結果との乖離や今後の調査のあり方等について検討した。

これらを通じて、現状での薬局・薬剤師の業務実態を明らかにし、適正化可能な業務内容や在宅対応等が増える中での今後の薬局業務のあり方について検討を行った。

**研究分担者氏名・所属機関名・職名**

益山光一 東京薬科大学薬学部教授

**A. 研究目的**

我が国では、他国に類を見ないほど少子高齢化が急速に進行している。団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）以降は、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれており、厚生労働省では、地域包括ケアシステムの構築を推進している。

このような中、薬局に従事する薬剤師は15

万人を超え、調剤や医薬品供給等を通じて、公衆衛生の向上・増進に寄与し、国民の健康な生活を確保する役割を担う重要な社会資源と位置づけられる。平成27年10月23日には、厚生労働省が医薬分業の原点に立ち返り、現在の薬局を患者本位のかかりつけ薬局に再編するため、「患者のための薬局ビジョン」を公表した。このビジョンにおいて、薬局は服薬情報の一元的・継続的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導や24時間対応・在宅対応、といった機能を備えること、また、従来の対物業務から、在宅対応にも通じた継続的な服薬状況・副作用

等のモニタリング、それを踏まえた医師へのフィードバックや処方提案、残薬解消など、患者が医薬分業のメリットを実感できる対人業務へのシフトを図ること、さらに、薬局におけるタイムスタディ調査を実施し、調剤技術の進展、機械化の状況など、最新の状況に応じた薬剤師業務の実態を把握することについて言及されている。

また今後、「患者のための薬局ビジョン」実現のためのロードマップや具体的な施策を講じる上での留意点等を検討することとしており、薬局における業務について対人業務へのシフトを図るため、対人業務そのものの推進と同時に、現在、負担が大きくなっている業務の改善方法を追究に向けて検討が必要となっている。

本研究では、処方箋を受け付けてから薬剤を患者に交付し、記録を記入するまでの調剤に関連する業務（調剤業務）だけでなく、薬局の管理業務を含め薬局における業務実態全体について調査を行った。調剤業務については、過去の先行調査との比較可能性を確保できるよう配慮しつつ、処方箋1枚当たりの業務時間を明らかにすることとしてタイムスタディ調査を実施した。また、タイムスタディ調査の実施に当たっては、適宜関係団体の協力を仰ぎながら、薬剤師数等に偏りが生じないように調査対象薬局の選定を行い、薬局の特徴や地域の違いを配慮の上、10薬局で調査を実施し、薬局・薬剤師の業務実態の把握を行った。

薬局・薬剤師の適正業務については、残薬等の先駆的な取組みを実施している地区薬剤師会の協力を得て、アンケート調査を実施し、タイムスタディ調査結果との乖離や今後の調査のあり方等について検討を行った。

これらを通じて、現状での薬局・薬剤師の業

務実態を明らかにするとともに、適正化可能な業務内容や在宅対応等が増える中での今後の薬局業務のあり方について検討を行った。

なお、タイムスタディ調査の実施については、過去に薬局のタイムスタディ調査を行った実績のあるみずほ情報総研に委託して実施した。

## B. 研究方法

### 1. タイムスタディ調査の実施

#### (1) 薬局選定方法等

本調査は、薬局周辺の人口の集中度（都市型、地方型）、薬局の立地等の課題（病院の門前、地域の薬局）、ドラッグストア併設等の特徴の違う薬局を関係団体の協力の下、10薬局選定し、各薬局における業務状況のヒアリングを行い、また、保険調剤薬局の店舗内で、1処方せんに係る受付、調剤、服薬指導などの所要時間を調査員3～4名によりストップウォッチを使って計測（タイムスタディ調査）を実施した。

#### (2) 各薬局の概要

各薬局の概況については、次のとおり。

##### ①A薬局（神奈川県座間市）

隣接の病院（一般151床&精神155床）のいわゆる門前薬局で、カウンター2つ、パーティション有り。

・薬剤師3人、事務職員1人で処方箋60～70枚程度/日。

・自己血圧測定器（A&D Medical）有り。

・OTC（ロキソニン、アレグラ）有り。衛生材料（マスク、絆創膏等）、医薬部外品（シャンプー、石鹸、スキンミルク、スプレー式殺虫剤等）、検査食（エニマクリンP）、健康食品（サプリメント、栄養ドリンク等）、お菓子有り。

・レセコンと薬情、薬袋、シール、調剤録、領収書作成システムは一体となっている。処方箋内容は二次元バーコードで読み込み（完全に読

み込まないので手修正)。薬歴は紙管理。自動分包機は錠剤用と散剤用で1台ずつあるが、レセコンとは連動せず。

・在宅は月1～2日にまとめて、法人の在宅医療専任の薬剤師チームが対応。ただし、各店舗で対応することもある。

・基準調剤加算1、後発医薬品調剤体制加算1。  
麻薬免許有り。

## ② B薬局（愛知県尾張市）

・隣接の病院（一般250床）のいわゆる門前薬局で、カウンター3つパーティション有り。

・薬剤師3.5人、事務職2人で処方箋90～100枚程度/日。

・血圧測定器（A&D Medical）有り。病院配布の血圧手帳の利用率が上がってきており、患者から依頼されれば薬局でも提供している。

・OTC（ロキソニン、ベンザブロック、バファリン、龍角散、イソジン、イチジク浣腸、メンソレータム、ムヒ、フルコート、オイラックス、ノーシン、サンティア、Vロート、オロナイン、タケダ漢方便秘薬、正露丸、太田胃散、百草丸、ビオフェルミン、白光、下呂膏、サロンシップ、アンメルツヨコヨコ、オキシドール、マキロン）、衛生材料（マスク、絆創膏、包帯、サポーター、綿・綿棒、オブラート等）、健康食品（サプリメント）、お菓子、お茶、スープ、酢飲料有り。

・レセコンと薬歴、薬情、調剤アシストシート、薬袋、シール、調剤録、領収書作成システムは一体となっている。処方箋内容は手入力。自動分包機は錠剤用と散剤用で1台ずつあるが、レセコンとは自動連動していない。

・在宅は有料老人ホーム2施設50人程度（どちらの施設も2診療所の医師が主治医）。週1～2日は両主治医の回診に同行。介護相談応需の掲示有り。介護用品の販売・レンタルも行っ

ている。

・基準調剤加算1、後発医薬品調剤体制加算1。  
麻薬免許有り。

## ③ C薬局（栃木県足利市）

・隣接の診療所（内科、循環器内科、消化器内科）のいわゆる門前薬局で、カウンター4つ、パーティション有り。

・薬剤師4.5人、管理栄養士1人、登録販売者1人、事務職員1人で処方箋80～150枚程度/日。

・無菌調剤室有り。

・血圧測定器（テルモ）有り。

・OTC（要指導、1類、指定2類、2類、3類）、高度管理医療機器（自己血糖測定器）、医薬部外品、健康食品、化粧品等多数有り。

・レセコンと薬歴、薬情、薬袋、薬袋シール、お薬手帳シール、調剤録、領収書作成システムは一体となっている。薬歴にはOTCも入力。処方箋内容はQRコードで読み込み。自動分包機は錠剤用と散剤用で1台ずつあるが、レセコンとは自動連動していない。散剤監査システム有り。軟膏調剤機有り。

・在宅は10人程度（施設無し）。

・基準調剤加算1、後発医薬品調剤体制加算2。  
麻薬免許有り。

## ④ D薬局（東京都狛江市）

・隣接の病院（一般病床587床、精神病床20床、結核病床31床内科）のいわゆる門前薬局で、カウンター6つパーティション有り。診療所（整形外科）、歯科診療所も各1カ所ずつ近くにある。

・薬剤師12人、事務職員6人で処方箋240枚程度/日。

・血圧測定器（シチズン）有り。

- ・OTC、衛生材料、医薬部外品、お菓子等有り（OTCのみ買いに来る人もいる）。
- ・レセコンと薬歴、薬情、薬袋、シール、調剤録、領収書作成システムは一体となっている。処方箋内容は手入力。自動分包機は錠剤用と散剤用で1台ずつあるが、レセコンとは自動連動せず。自動半割機有り。
- ・在宅は80人程度（2施設）。
- ・基準調剤加算無し（特例）、後発医薬品調剤体制加算1。麻薬免許有り。

#### ⑤ E薬局（福島県郡山市）

- ・医療モールが多少近くにあるが、医療モール内に別の門前薬局有り。処方箋の集中度は8%。カウンター2つパーティション有り。
- ・薬剤師2人で処方箋10～20枚程度/日（FAX処方箋も数件ある）。事務員はいない。
- ・ドラッグストア併設だが、薬局内には要指導医薬品と1類のOTC配置。介護用品有り。
- ・携帯電話を使ったEPARKの処方箋予約受付システム（処方箋の写メを送って、準備ができると連絡が入る）、自己血液検査のじぶんからだクラブ（健康ライフコンパス社）あり。がんリスクチェッカーの取り寄せも対応。
- ・レセコンと薬情、薬袋、シール、調剤録、領収書作成システムは一体となっている。薬歴は紙管理。処方箋内容は手入力。自動分包機は錠剤と散剤の兼用機が1つあるが、レセコンとは自動連動せず。
- ・在宅業務は実施していない（対応は可能）。
- ・基準調剤加算無し、後発医薬品調剤体制加算2。麻薬免許有り。

#### ⑥ F薬局（兵庫県川西市）

- ・近隣には医療機関は無く、在宅訪問を主業務とした面展開の薬局で、カウンターは2つ、パ

ーティションは無い。

- ・薬剤師は16人、事務職員7人で、処方箋は130枚/日程度であり、外来の患者は少なく、過半数を在宅訪問の処方箋が占める。
- ・OTCは豊富に置いてある。漢方も多く置いてある。
- ・薬局店舗は1階部分であるが、2階に介護系のサービス事業所がある。このため、1階部分では介護用品も販売している。
- ・無菌調剤室有り。
- ・レセコン、薬情、薬袋、シール、調剤録、領収書作成システムは一体となっている。自動分包機が1台あるが、レセコンとは自動連動せず。
- ・在宅は訪問先ごとに担当者制。
- ・基準調剤加算2、後発医薬品調剤体制加算1。麻薬免許有り。

#### ⑦ G薬局（東京都渋谷区）

- ・都心の大型商業ビルに入居しており、商業ビル内には、診療所1件、歯科診療所2件が入居しているものの、近接はしていない。薬局は、カウンター2つ、パーティション有り。
- ・薬剤師4人、事務職員1人で処方箋60枚/日程度。
- ・ドラッグストア併設で、薬局内には要指導医薬品と1類のOTCが配置されている。
- ・レセコンと薬情、薬袋、シール、調剤録、領収書作成、薬歴システムは一体となっている。自動分包機は1つあるが、レセコンとは自動連動せず。
- ・在宅業務は実施していない。
- ・基準調剤加算1、後発医薬品調剤体制加算なし、麻薬免許有り。

#### ⑧ H薬局（福島県福島市）

- ・隣接の病院（一般 189 床・療養 44 床、うち回復期 91 床）のいわゆる門前薬局で、カウンター4つ、パーティション有り。
- ・薬剤師 4 人、事務職員 3 人で処方箋 150 枚程度/日。
- ・薬局内には多数の OTC、衛生材料、医薬部外品、お菓子等有り。
- ・血圧測定器 3 台（テルモ、A&D Medical、オムロン）有り。
- ・レセコンと薬歴、薬情、薬袋、シール、支援シート、調剤録、領収書作成システムは一体となっている。自動分包機は錠剤と散剤の各 1 つずつあるが、レセコンとは自動連動せず。
- ・在宅業務は 5 人程度実施。
- ・基準調剤加算 1、後発医薬品調剤体制加算 2。麻薬免許有り。

⑨ I 薬局（富山県高岡市）

- ・隣接の診療所（内科、消化器内科、内分泌内科）のいわゆる門前薬局で、カウンター2つ、パーティション無し。
- ・薬剤師 5 人、事務職員 1 人で処方箋 70 枚程度/日。
- ・薬局内には OTC（オロナイン、液体ムヒ）、衛生材料（マスク、バンドエイド）、化粧品、食品・菓子、清涼飲料水有り。
- ・血圧測定器無し。
- ・レセコンと薬歴、薬情、薬袋、シール、調剤録、領収書作成システムは一体となっている。自動分包機は錠剤と散剤の兼務機 2 台。自動監査機器が 1 台（バーコードや画像認識で監査）。
- ・在宅業務無し。
- ・基準調剤加算 1、後発医薬品調剤体制加算 1。麻薬免許有り。

⑩ J 薬局（東京都練馬区）

- ・隣接の診療所（内科、外科、小児科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、心療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、消化器外科）のいわゆる門前薬局で、カウンター3つ、パーティション有り。カウンターは全てイス席。
- ・薬剤師 5 人、事務職員 2 人で処方箋 120～150 枚程度/日。
- ・薬局内には OTC（要指導、1 類、2 類、3 類）有り。
- ・血圧測定器有り。
- ・レセコンと薬歴、薬情、薬袋、シール、調剤録、領収書作成システムは一体となっている。処方箋は手入力。自動分包機は錠剤と散剤で 1 台ずつ。自動監査機器無し。
- ・在宅業務 3 名（施設無し）
- ・基準調剤加算 2、後発医薬品調剤体制加算なし。麻薬免許有り。

以上の 10 施設についての実施日程は下記のとおり。

日付	薬局名	所在地	調査時間
2/23	A 薬局	神奈川県座間市	9 : 00 ~ 18 : 00
2/24	B 薬局	愛知県尾張市	8 : 30 ~ 17 : 30
3/ 1	C 薬局	栃木県足利市	9 : 00 ~ 18 : 30
3/ 3	D 薬局	東京都狛江市	9 : 00 ~ 18 : 00
3/ 4	E 薬局	福島県郡山市	10 : 00 ~ 19 : 00
3/ 8	F 薬局	兵庫県川西市	9 : 00 ~ 20 : 00
3/10	G 薬局	東京都渋谷区	9 : 00 ~ 20 : 00
3/10	H 薬局	福島県福島市	8 : 30 ~

			18 : 00
3/14	I 薬局	富山県高岡市	8 : 30 ~ 18 : 30
3/17	J 薬局	東京都練馬区	9 : 00 ~ 19 : 00

### (3) 調査項目

ヒアリング結果をもとに、「調査日1日おける主たる業務区分別の業務時間構成」の表、また、タイムスタディ調査をもとに「1処方箋当たりの主たる業務区分別の業務時間」の表を作成した。

本調査では、1処方せんに係る下記の業務について所要時間等を委託調査にて計測した。

ただし、調査協力薬局によって業務の流れが異なり、それぞれ業務区分ごとに計測することが不可能であったため、薬局間での比較の際には大区分の設定を行う必要がある。

業務区分	業務内容
処方箋受付	患者が提出する保険証・処方箋を受け付ける業務
お薬手帳の確認・ジェネリック医薬品の希望確認	患者に対してお薬手帳の提出を求め、ジェネリック医薬品による調剤の希望の確認する業務
薬歴確認	薬歴簿から患者の薬歴を抽出する業務（システム対応する場合もある）
処方箋監査	処方箋の内容の監査を行う業務
医師への疑義照会	処方箋の内容等に関し疑義が生じた場合、処方医に対して電話等により照会を行う

	う業務
薬袋準備・記入	薬を入れる袋を準備し、薬の用量・用法等を記入する業務
計数調剤	調剤棚から薬の処方量分を取り出す業務（システムと連動している場合もある）
計数調剤後の監査	調剤棚から取り出した薬が処方箋通りになっているかについて監査を行う業務
一包化調剤	複数種類の錠剤等を一包にまとめる業務（自動分包機）
半割調剤	1つの錠剤を割って半錠等にする業務
自家製剤による調剤	患者様が服薬しやすいように、⑩の半割調剤以外に行う様々な業務（錠剤を粉碎して散剤（粉薬）とする、薬を溶かして点眼剤にして無菌処理する、主たる薬に基剤を加えて坐剤とする等）
計量調剤	散剤（粉薬）、液剤（水剤）、軟膏剤の複数の薬剤の量を計量して混ぜる業務
最終監査	全ての調剤終了後に、調剤した薬が処方箋通りになっているかについて監査を行う業務
薬剤交付・服薬指導（カウンター越しで）	カウンター越しに患者様に薬を渡し、服薬指導を行い、会計する業務
服薬指導（患者の待合席等の隣で）	患者様の座る待合席の隣で、服薬指導（生活相談等も含む）を行う業務

調剤記録作成	調剤内容について記録（システム対応を含む）を行う業務
その他	2 ⑩に該当しない業務

## 2. アンケート調査（分担研究）について

タイムスタディ調査項目とリンクした項目を主として、今後の薬剤師に必要な内容を先駆的に取組んでいる地区薬剤師会の薬剤師にアンケートを実施し、先駆的な取組みをしている薬局・薬剤師において、業務時間の増減に関する内容を調査した。

## C. 結果

### 1. タイムスタディ調査はそれぞれ次のとおり。

なお、集計表における業務区分には、下記の業務を含む。

受付・薬袋準備：処方箋受付、お薬手帳の確認・ジェネリック医薬品の希望確認、薬袋準備及び記入

薬歴確認・処方箋監査：薬歴確認、処方箋監査、医師への疑義照会

調剤：計数調剤、一包化調剤、半割調剤、自家製剤による調剤、計量調剤、計量調剤後の監査

監査：調剤後の監査

薬剤交付・服薬指導：カウンター越しの薬剤交付、カウンター越し又は待合席隣での服薬指導

(1) 各薬局の結果は以下のとおり。

#### 1) A薬局

##### ①調査実施時の基本情報

職員体制：薬剤師3人、事務職員1人

集計対象とした処方箋枚数：44枚（調査日の処方箋受付枚数64枚）

※ 2016年1月の処方箋受付枚数の実績  
1,273枚

### ②調査日1日における主たる業務区分別の業務時間構成

	業務時間計（時：分）			構成割合		
	薬剤師	事務職員	合計	薬剤師	事務職員	合計
開店前業務	0:40	0:10	0:50	2.8%	4.5%	3.0%
医療用医薬品の調剤業務	13:55	2:00	15:55	57.6%	54.5%	57.2%
在宅業務	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
一般用医薬品等の販売業務	0:05	0:00	0:05	0.3%	0.0%	0.3%
医薬品情報収集及び整理	0:10	0:00	0:10	0.7%	0.0%	0.6%
医薬品等の発注・卸対応	1:00	0:00	1:00	4.1%	0.0%	3.6%
医薬品等の補充	1:00	0:00	1:00	4.1%	0.0%	3.6%
レセプトの整理	0:00	0:10	0:10	0.0%	4.5%	0.6%
薬歴の入力	6:00	0:20	6:20	24.8%	9.1%	22.8%
会議・打合せ	0:05	0:00	0:05	0.3%	0.0%	0.3%
レジ開め・日計表作成	0:05	0:20	0:25	0.3%	9.1%	1.5%
店内清掃・片付け	1:10	0:20	1:30	4.8%	9.1%	5.4%
雑用	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0:00	0:20	0:20	0.0%	9.1%	1.2%
合計	24:10	3:40	27:50	100.0%	100.0%	100.0%
人数	3.0人	1.0人	4.0人			

### ③1処方箋当たりの主たる業務区分別の業務時間

	全体		計数調剤のみ		一包化調剤含む		計量調剤含む	
	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合
受付・薬袋準備	0:38	6.4%	0:38	7.5%	1:15	4.8%	0:32	3.6%
薬歴確認・処方箋監査	1:39	16.9%	1:29	17.7%	6:52	26.3%	1:47	12.1%
調剤	2:43	27.7%	1:41	20.0%	6:24	24.5%	7:31	51.2%
監査	2:54	29.6%	2:44	32.5%	8:48	33.7%	2:54	19.8%
薬剤交付・服薬指導	1:54	19.4%	1:53	22.3%	2:46	10.6%	1:56	13.2%
合計	9:50	100.0%	8:26	100.0%	26:05	100.0%	14:41	100.0%
処方箋枚数	44枚		35枚		1枚		7枚	

## 2) B薬局

### ①調査実施時の基本情報

職員体制：薬剤師 4 人、事務職員 2 人

集計対象とした処方箋枚数：42 枚（調査日の処方箋受付枚数 58 枚）

※ 2016 年 1 月の処方箋受付枚数の実績 1,847 枚

### ②調査日 1 日における主たる業務区分別の業務時間構成

	業務時間計 (時:分)			構成割合		
	薬剤師	事務職員	合計	薬剤師	事務職員	合計
開店前業務	0:20	0:30	0:50	1.4%	4.1%	2.3%
医療用医薬品の調剤業務	15:20	7:00	22:20	62.7%	57.5%	61.0%
在宅業務	2:30	2:00	4:30	10.2%	16.4%	12.3%
一般用医薬品等の販売業務	0:00	0:10	0:10	0.0%	1.4%	0.5%
医薬品情報収集及び整理	0:50	0:10	1:00	3.4%	1.4%	2.7%
医薬品等の発注・卸対応	0:13	1:10	1:23	0.9%	9.6%	3.8%
医薬品等の補充	1:10	0:25	1:35	4.8%	3.4%	4.3%
レセプトの整理	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
薬歴の入力	3:25	0:00	3:25	14.0%	0.0%	9.3%
会議・打合せ	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
レジ開始・日計表作成	0:15	0:20	0:35	1.0%	2.7%	1.6%
店内清掃・片付け	0:25	0:25	0:50	1.7%	3.4%	2.3%
棚卸	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
合計	24:28	12:10	36:38	100.0%	100.0%	100.0%
人数	4.0人	2.0人	6.0人			

### ③ 1 処方箋当たりの主たる業務区分別の業務時間

	全体		計数調剤のみ		一包装調剤含む		計量調剤含む	
	時間 (分:秒)	割合	時間 (分:秒)	割合	時間 (分:秒)	割合	時間 (分:秒)	割合
受付・薬袋準備	1:27	10.0%	1:23	14.7%	1:22	2.4%	2:03	13.1%
薬歴確認・処方箋監査	1:49	12.6%	0:33	5.9%	13:43	24.1%	0:46	4.9%
調剤	3:18	22.7%	1:14	13.1%	18:34	32.7%	5:43	36.3%
監査	3:53	26.7%	2:34	27.3%	15:50	27.9%	3:08	19.9%
薬剤交付・服薬指導	4:04	28.0%	3:41	39.1%	7:21	12.9%	4:03	25.8%
合計	14:34	100.0%	9:27	100.0%	56:51	100.0%	15:45	100.0%
処方箋枚数	42枚		34枚		4枚		4枚	

## 3) C薬局

### ①調査実施時の基本情報

職員体制：薬剤師 5 人、事務職員 3 人

集計対象とした処方箋枚数：63 枚（調査日の処方箋受付枚数 74 枚）

※ 2016 年 1 月の処方箋受付枚数の実績 2,184 枚

### ②調査日 1 日における主たる業務区分別の業務時間構成

	業務時間計 (時:分)			構成割合		
	薬剤師	事務職員	合計	薬剤師	事務職員	合計
開店前業務	0:45	0:55	1:40	1.7%	6.1%	2.8%
医療用医薬品の調剤業務	28:50	6:40	35:30	65.8%	44.4%	60.3%
在宅業務	2:00	0:00	2:00	4.6%	0.0%	3.4%
一般用医薬品等の販売業務	0:00	0:30	0:30	0.0%	3.3%	0.8%
医薬品情報収集及び整理	3:25	0:00	3:25	7.8%	0.0%	5.8%
医薬品等の発注・卸対応	1:40	1:35	3:15	3.8%	10.6%	5.5%
医薬品等の補充	0:50	0:45	1:35	1.9%	5.0%	2.7%
レセプトの整理	0:00	3:00	3:00	0.0%	20.0%	5.1%
薬歴の入力	5:40	0:00	5:40	12.9%	0.0%	9.6%
会議・打合せ	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
レジ開始・日計表作成	0:00	1:00	1:00	0.0%	6.7%	1.7%
店内清掃・片付け	0:25	0:35	1:00	1.0%	3.9%	1.7%
棚卸	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0:15	0:00	0:15	0.6%	0.0%	0.4%
合計	43:50	15:00	58:50	100.0%	100.0%	100.0%
人数	5.0人	3.0人	8.0人			

### ③ 1 処方箋当たりの主たる業務区分別の業務時間

	全体		計数調剤のみ		一包装調剤含む		計量調剤含む	
	時間 (分:秒)	割合	時間 (分:秒)	割合	時間 (分:秒)	割合	時間 (分:秒)	割合
受付・薬袋準備	2:57	26.9%	2:38	29.3%	5:43	20.7%	5:37	24.5%
薬歴確認・処方箋監査	2:03	18.8%	1:10	13.0%	10:08	36.7%	7:59	34.8%
調剤	2:37	23.9%	2:01	22.4%	7:44	28.0%	6:10	26.9%
監査	3:19	30.3%	3:11	35.3%	4:00	14.5%	3:09	13.8%
合計	10:57	100.0%	9:03	100.0%	27:36	100.0%	22:56	100.0%
処方箋枚数	63枚		56枚		6枚		2枚	